

森の日記 2022年5月29日から8月21日まで

by 迷鳥キツキ

5月29日午前：早朝6:30から予定されていたエゾリスセンサスは強風のため順延となりましたが、10:00からのチョウの調査は実施されました。強風でチョウはあまりいないかと思いましたが、ウスバアゲハやコミスジなど多くのチョウを見ることができました。エゾハルゼミも賑やかに鳴いていました。



左：鳥類調査中のメンバー。 右：ウスバアゲハ。

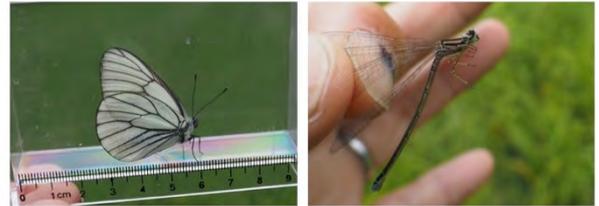
6月5日：朝の5時から鳥の調査、9時から植生回復試験地に移植した植物の定着状況調査とオオアワダチソウの抜き取り作業を行いました。鳥の調査ではコルリを初めて見ることができました。植生回復試験地ではエゾノウワミズザクラとホザキシモツケが大きく育ち、オミナエシ、ユキザサ、フタリシズカ、フッキソウ、ミツバウツギなど多くの在来種が定着していました。



左：コルリ。 右：植生定着調査。

6月12日：エゾリスセンサス(6:30-)とチョウの調査(9:15-)。私は遅れてチョウの調査から参加しました。見たチョウは、エゾスジグロシロチョウ、エゾシロチョウ、ツバメシジミ、ギンイチモンジセセリなどです。他にキタイトトンボも観察しました。植物もいろ

いろと観察することができました。アヤメ、エゾノレンリソウ、ハマナスがきれいでした。



左：エゾシロチョウ。 右：キタイトトンボのメス。

6月19日の午前中は畜大農場西側の売買川堤防でフラワーソンの植物調査を、午後はエゾリスの会による植物調査を行いました。売買川堤防では予定地域の一部しか調べられませんでした。綺麗なサイハイランを見ることができました。午後の帯広の森内での調査では、アオイスミレの果実やフタリシズカを観察できました。



左：サイハイラン。 右：フタリシズカ。

6月20日はフラワーソんで上帯広、岩内仙峡、美栄町、大正町の4ヶ所を1日かけて調査しました。岩内仙峡以外は地域防風林や段丘崖でした。いずれの地点も植物相が豊かで、エゾキスゲなど多くの植物を見ることができました。多人数で調査していると発見できる植物の数が増え、知恵を出し合って種類の判別もはかどるので素晴らしいと思いました。



左：フラワーソンの調査。 右：エゾキスゲ。

7月3日午前はチョウの調査でした。30度超えの非常

に暑い1日で、チョウもあまりたくさんは見かけませんでした。一番多く見かけたのはサトキマダラヒカゲというチョウで、他にはメスアカミドリシジミという翅の表側が緑色の美しいチョウとスジグロシロチョウを見ました。エゾノシモツケソウなど初夏の花が咲き始めていました。



左：メスアカミドリシジミ。 右：調査中の一行。

7月3日午後：百年記念館の学芸員さんを講師に招き、エゾリスの会の自然観察会「帯広の森を虫屋さんと歩いてみたら・・・」として、森の中のあちこちに1週間前から設置してあった鶏ガラを分解している虫たちを観察しました。シデムシ、ハネカクシ、ハムシダマシ、センチコガネなどいろいろな虫を観察できました。



左：捕獲装置から腐生昆虫を回収。右：吸虫管で昆虫を採集。

7月10日午後：雨間についてモニタリングサイト1000の植物調査が行われました。雨のため参加者は少なかった（6名）ですが、じっくりと調査ができました。オオウバユリの開花が始まっていました。午前中もオミナエシ植栽区の除草作業が予定されていたのですが、こちらの方は雨で中止になりました。



左：調査ほぼ終了時。 右：ミヤマクワガタとコクワガタ。

7月18日午前：チョウ類調査が行われました。最初の森の中ではミドリシジミの仲間がたくさん見られ、中間の草原部ではクロヒカゲ、ジャノメチョウ、コキマダラセセリなどが多く、後半のノリウツギの木の周りではヒョウモンチョウ類がたくさん見られました。チョウの出現が多かったので調査には4時間近くかかりました。オオウバユリは満開状態になり、ヤマハギが咲き始めていました。



左：調査中のメンバー。 右：コキマダラセセリ。

7月31日午前：チョウ類調査が朝7時15分から行われました。パークゴルフ場でアライグマの行動跡が見つかったそうです。私は出席できませんでしたので会長さんが撮られた写真を引用しました。



左：調査中のメンバー。 右：オミナエシの開花。

8月7日終日：“はぐくむ”のスタッフさんたちと協力して帯広の森のバイオマス調査を行いました。10年ごとに行われる定点調査です。予定されていた4地点中3地点で半径6メートルの範囲内の樹木の高さと胸高直径および林床の植生分布を調べました。植樹された樹木は10年前と比べて大きく成長しており、また自然に生えてきた樹種も増えて、一部では植樹された樹木と置き換わる勢いでした。林床の植物の種類も著しく増えて、多様な植生が作られていました。



左：調査中のメンバー。 右：キツリフネの開花。

8月13日午前：朝7:15からチョウ類調査が行われました。大雨の後にチョウの出現数は少なかったですが、ミドリシジミ類とヒョウモンチョウ類、スジグロシロチョウ、ベニシジミ、ツバメシジミなどを観察しました。草花も盛夏から秋の気配を感じさせる種類に変わってきました。スズメバチの活動も活発で、観察小屋に設置された巣箱2個にはどちらにも大きなスズメバチの巣が作られていました。



左：調査中のメンバー、中：ゲンノショウコ、右：ネジバナ。

8月21日：午前中は畜大の学生サークル”もりとも”と協力して、帯広の森の散策路沿いにある「池3」の環境整備を行い、池の中で過繁茂状態になっていたスゲ類やヨシ類を減らしました。また午後にはモニタリングサイト1000の植物調査を行いました。私は所用で参加できませんでしたので、会長さんが撮られた写真を引用しました。



上：里山をつくろうプロジェクトで「池3」周辺の環境整備。

8月28日のチョウの調査は雨天中止となりました。

私の個人ホームページ

<http://timetraveler.html.xdomain.jp>

でも活動の様子を報告しています。

スタート画面の「エゾリスの会」という青いボタンを押してください。